

■著者紹介

中野 徹也 (なかの てつや)

1969年生まれ。関西大学法学部教授。関西大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得後退学。

主な著書に、『竹島問題と国際法』(2019年、ハーベスト出版)、『国際法【第5版】』(第3章担当)(2022年、東信堂)。主な論文に、「人権概念と条約の留保規則」『国際法外交雑誌』111巻4号(2013年)、「条約法条約における『事情変更の原則』」(浅田正彦ほか編『現代国際法の潮流I』(2020年、東信堂))、「条約への再加入時に付された留保の効力(1)(2・完)」『関西大学法学論集』第70巻第5号、第71巻第3号(2021年)。